

松陽中学校 学びの道しるべ

1 全国学力調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全 国
国語 A（基礎）	やや下回る	平均並み
国語 B（活用）	やや下回る	平均並み
数学 A（基礎）	やや下回る	上回る
数学 B（活用）	平均並み	上回る
理科（基礎・活用）	やや下回る	上回る

全国との比較においては、どの教科も「上回る」「平均並み」でした。県との比較においては、「やや下回る」が目立つ結果となりました。今後も、生徒主体の活動を中心にした取組を大切にし、学ぶ意欲を高めるための「できる・わかる」授業づくりにさらに力を入れ、変化の激しい時代を生き抜くために必要な力を育てていきます。

2 設問から見える現在身につけている力（◎）と今後身につけたい力（△）

国語 A	国語 B
◎語句の辞書的な意味を踏まえて、文脈上の意味を捉えることができる。 ◎古典に表れたものの見方や考え方を理解している。 △書いた文章を読み直し、伝えたい内容が十分に表されているか検討できる。 △文脈に即して漢字を正しく書くことができる。 △語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。	◎目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文章を書くことができる。 △文章とグラフの関係を考えながら、内容を捉えることができる。 △文章中や選択肢の中に、書いてあることと書いてないことを正確に検証できる。
数学 A	数学 B
◎座標と平面上の位置関係が分かる。 ◎与えられた資料から中央値を求めることができる。 ◎多数回の結果から確率を求められる。 △数量関係を不等式で表現できる。 △比例のグラフを見て、 x の変域から y の変域を求めることができる。 △1 次関数の式について、変化の割合や切片の値とグラフを結びつけることができる。 △1 次関数について x の増加量から、 y の増加量を求めることができる。	◎与えられた情報から、必要な情報を選択し処理することができる。 ◎関数分野では、具体的なグラフから必要な量を読み取ることができる。 ◎グラフを利用して条件に合う解を求めることができる。 △文字式を用いて、数学的な表現を用いて説明することができる。
理科	
◎光の反射の規則性についての知識、技能が活用できる。 ◎食塩水の濃度について、高い低いを指摘できる。 ◎人体の反射に関する実験で、指定された条件にあわせて新たな実験を計画できる。 ◎原子の記号の表し方が定着している。 △台風の進路についてのシミュレーション結果を活用し、進路予想を記述できる。	

- △神経系のはたらきに関する知識が定着している。
- △食塩水の質量パーセント濃度を計算により求めることができる。
- △科学的な思考を用いて課題を解決することができる。

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子どもたちが生きるために大切な力です。なお、本学力調査は学力の特定の一部を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から

【良かった点】

- ◎自分にはよいところがあると思う。(本校：82.1% 全国：78.8%) +3.3%
- ◎家で、自分で計画を立てて勉強している。(本校：68.8% 全国：52.1%) +16.7%
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。(本校69.3% 全国：45.6%) +23.7%

【課題となる点】

- △テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
(本校：78.9% 全国：86.6%) -7.7%
- △学校の授業以外に平日2時間以上勉強している。(本校：27.1% 全国36.4%) -9.3%

4 全国学力調査、質問紙調査をふまえた改善策について

～基礎基本の定着をめざして～

- ・授業のねらいを明確にし、授業の最後には振り返りを行う。
- ・授業の最初には、前時の復習を行い、既習事項を確認する。
- ・朝学習や朝読書の時間を大切にし、小さな積み重ねを継続する。
- ・さらなる家庭学習の定着を図るためにも、引き続き、自学やプリント学習に取り組む。

～活用力の向上に向けて～

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。
- ・資料などを正確に読み取り、課題を解決できる力を養う。
- ・根拠を明らかにして表現する力を養う。
- ・ペア活動やグループ活動を通して、自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いて考えを深めたりできるようにする。

～その他の取組～

- ・学習内容の定着をめざし個々にあった内容で「アップノート・自学ノート」に取り組み、力をつける。
- ・生徒が主体となった学校づくりに取り組み、様々な場面で語り合い、感動体験を味わうことにより、自己有用感を高める。
- ・温かい人間関係を育むための活動を積み重ね、学び合いの土台をつくる。

～ご家庭にお願いしたいこと～

- ・SNSによる生活習慣の乱れや学習への影響、人間関係におけるトラブル等が心配されます。使い方や使用時間等について話し合い、家庭内での約束ごとを作っていただけたらと思います。
- ・学校の様子や社会の出来事などを話題に、お子様と会話をする時間を作ってください。会話の中から、自分の将来に対する展望が見えてきたり、自分や他者を大切に思う心が生まれてきたりします。親の愛情やふれあいは子どものエネルギーのもととなります。ぜひ、お子様と一緒に過ごす時間を大切にしてください。

家庭と学校が連携して、健やかな子どもの育ちを見守りましょう。